

第45号 平成29年8月発行

けんぽく農林ニュース

ふくしまから はじめよう。
「食」と「ふるさと」新生運動ニュース

～県北地方の「食」と「ふるさと」新生運動に関する
情報をお知らせします～



身体を冷やしてくれ水分補給にもなるきゅうりは、
夏バテにも効果的！
県北地方のきゅうりを食べて暑さを乗り切ろう！



ICT制御による養液土耕システムで栽培した
伊達市梁川町のきゅうり



関根さん夫妻(伊達市)、JA福島女性部協議会(県域)が

「福島県農業賞」を受賞！

平成29年8月29日(火)、福島市の杉妻会館において、「第58回福島県農業賞」の表彰式が行われました。

「福島県農業賞」は、本県の農業分野で最も権威のある賞のひとつです。今回、当所管内からは、農業経営改善部門で伊達市でももの栽培を行っている関根隆夫さん・信江さん夫妻、集団活動部門(農村女性活動の部)で農業・農村の活性化に向けた活動を行っているJA福島女性部協議会が受賞されました。

両者とも御自身の経営活動だけでなく、地域の農業振興に対して多大な貢献をされました。受賞者の皆様の今後のますますの御活躍を御祈念申し上げます。おめでとうございます！

(企画部)



関根隆夫さん・信江さん



JA福島女性部協議会の高林さくみ会長、
半谷真知子さん、中根まり子さん



鈴木廣直氏(大玉村)の生産した肉牛が日本一に！

平成29年7月7日(金)、東京都中央卸売市場食肉市場において、全国農業協同組合連合会(JA全農)主催による「第19回全農肉牛枝肉共励会」が開催され、大玉村の鈴木廣直^{ひろなお}氏が出品した枝肉が、和牛去勢牛の部門で日本一である名誉賞を受賞しました。

また今大会では、二本松市の上野広行氏が出品した枝肉が優秀賞を受賞するなど、福島県出品牛が最優秀賞と優秀賞の1席と3席を受賞し、上位を独占しました。

鈴木氏は本年2月、東京の同会場において開催されたJA全農主催による「第52回肉牛枝肉共励会」でも最高位の農林水産大臣賞を受賞するなど、これまでも多くの優秀な肉牛を生産してきました。

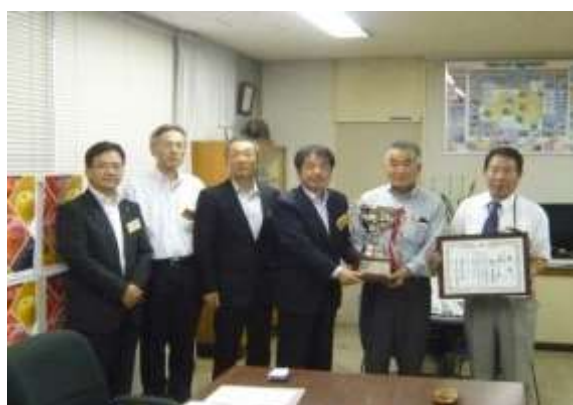
今回の受賞を記念し、8月19日(土)、福島市のウェディングエルティにおいて、『「名誉賞」受賞祝賀会』が開催されました。鈴木氏からは、「福島牛が風評被害など苦しい状況にある中、福島県内の肉牛農家一丸となり良質牛の生産に努めていきたい」と挨拶がありました。

鈴木氏及び上野氏は、来月9月7日(木)～11日(月)に宮城県で開催される「第11回全国和牛能力共進会」の肉牛の部への出品も決めており、上位入賞が期待されるようです。

当所でも、福島牛の再興のため引き続き支援を行ってまいります。(安達農業普及所)



「名誉賞」となった鈴木氏の枝肉
(枝肉写真提供:株式会社肉牛新報社)



福島県農林水産部長へ受賞報告
(右から2番目が鈴木氏)



県北農林事務所長へ受賞報告
(右から2番目が鈴木氏)



鈴木氏の『「名誉賞」受賞祝賀会』の様子

外国人留学生が参加の「農家民宿モニターツアー」を開催！

平成29年8月29日（火）～30日（水）、二本松市東和地域において、「農家民宿モニターツアー」が開催され、県内外の大学の外国人留学生など25名が参加しました。

このツアーは、福島県の事業委託を受けたNPO法人ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会が実施したものです。里山の暮らしや農家民宿での宿泊体験を通して、農村や農家民宿の魅力と課題について理解を深めてもらうと同時に、改善点などの意見をもらい、今後のインバウンド等の集客増加と地域の活性化を図る目的で行われました。

各農家民宿のオーナーは、前日の8月28日（月）に外国人受け入れについての心構え等に関する研修を受けて勉強し、ツアーに備えました。

参加した外国人留学生の国籍は、中国、モンゴル、ベトナム、スリランカ、ネパール、イラン、ブラジル、ナイジェリア、ルワンダ、フランスと様々です。英語が堪能な日本人大学生も加わり、地元の農家とともに、ツアーは盛り上がりました。

ツアーでは、農村の食文化体験として流しそうめんや餅つき、各農家民宿ごとの農作業体験、各農家民宿のオーナーとの意見交換会などが行われました。参加者は初めての体験に大いに盛り上がり、地元農家との交流を楽しんでいました。

今回のモニターツアーの参加者からの意見を反映させ、県北地方の農家民宿の改善につなげていければと思います。

（企画部）



受け入れ事前の研修会



流しそうめん体験。地元産のミニトマトも流れました。



畜産農家での農作業体験



参加者の皆さんで記念撮影

平成 29 年度「西根堰の隧道探検」が開催されました！

平成 29 年8月9日(水)、県の「^{みどり}水土里を育む普及促進事業」を活用し、伊達^{にしねぜき}西根堰土地改良区が主催する「西根堰の隧道探検」が開催されました。

このイベントは、地域の子どもたちを中心とした一般の方々を対象に、西根堰の歴史や役割とあわせて、水の大切さを学んでもらおうと、毎年8月に開催されています。この日は、福島市飯坂町の西根上堰頭首工(水路の取入口)から、第二号隧道までの区間約 500mの隧道(水路トンネル)内をボートやタイヤチューブに乗って探検しました。隧道の大きさを直に体験した子どもたちからは「思っていたよりも広くて、水の流れが強かった」等の感想が聞かれました。

西根堰は、摺上川から取水し、摺上川・阿武隈川左岸の一带をかんがいする二つの堰・用水路で、それぞれの施設が歴史ある農業水利施設です。下堰用水路は江戸時代の初めに作られ、その後、コンクリートなどに整備されましたが、石積の護岸や岩盤を掘った隧道など、所々に昔の姿を残しており、当時の工法・技術も見られることから、平成 22 年に社団法人土木学会の選奨土木遺産に認定されています。現在は、福島市・伊達市・桑折町・国見町の2市2町に広がる水田・畑の約 1,400ha を潤しています。

来年は、西根堰開削 400 年を迎えることから、本年 11 月4日(土)には西根堰ウォーク実行委員会主催の「西根堰ウォーク」が開催されます。さらに 11 月 11 日(土)には、西根堰の歴史を感じながら歩くイベント「西根堰ノルディックウォーキング」が開催されます。西根堰の歴史に興味を持った方は、ぜひ御参加ください。

詳しくは下記ホームページをご覧ください。

■「水土里ネット西根堰」URL: <http://sky.geocities.jp/datenishine/>

(農村整備部)



隧道探検に出発！おしりが冷たい！



西根神社にてみんなで記念撮影

献上桃の選果式が行われました！

平成29年8月1日(火)、伊達郡桑折町のふくしま未来農業協同組合桑折総合支店において、献上桃の選果式が行われました。

福島県は昭和54年から皇室及び各宮家に県産もものを献上しており、平成6年からは24年連続で桑折町産のもも「あかつき」を献上しています。

本年は、選果式当日の朝に収穫して共選場に搬入された約18万個の桃の中から、糖度、形状、着色、熟度などを基準に厳選した180個が選ばれました。

当日は、当所や関係機関・団体の職員のほか、桑折町観光キャンペーンクルー「スマイルピーチ」も参加し、華やかな選果式となりました。(伊達農業普及所)



開会式の様子



関係者による選果風景



箱詰めされた献上桃



スマイルピーチの皆さん

「福島地域酒造好適米現地検討会」が開催されました！

平成29年8月9日（水）、福島市松川地区において、地産地消による特徴ある日本酒づくりと良質な酒造好適米生産による水田農業の確立を目的として「平成29年度福島地域酒造好適米現地検討会」が開催されました。検討会には福島地域酒米研究会会員、福島市、県北農林事務所から23名が参加しました。

福島市で唯一の蔵元である金水晶酒造店において、これまでの製造・販売の経緯や今後の取組に関する話題提供をいただくとともに、酒蔵見学を実施し、米の洗い方、酵母の種類、麹菌の利用の仕方等の日本酒の製造工程について学びました。あいにくの雨で、現地ほ場の検討は中止となりましたが、生産者2名の酒造好適米品種「夢の香」や「五百万石」の栽培ほ場の状況や、カメムシ防除、適期収穫・乾燥調整等の今後の栽培管理について、県北農林事務所職員より説明を行いました。

その後の意見交換では、各会員から今後の栽培に関する疑問点や、米の磨き度合いや種類による味や香りの違い等について活発な質問や意見が出されました。

当所では、今後も、栽培指導や情報提供等の積極的な支援を実施し、実需者、生産者、関係機関の連携を強化する取組を展開してまいります。
(農業振興普及部)



酒蔵見学の様子



意見交換の様子

福島駅でもものPRパネル展を開催！

平成29年7月31日（月）～8月10日（木）、JR福島駅にて、県北農林事務所企画部の主催により、旬のももをPRするための「パネル展」を開催しました。

パネル展では、ふくしまプライドのももポスター、もも狩りが楽しめる福島市観光農園の紹介、昨年度実施したももの食の安全・安心実感ツアーの様子などを展示しました。また、福島市で毎年飾られるももの木も展示されており、JR福島駅を訪れた県内外のお客様にふくしまの夏の風物詩であるももをPRすることができました。
(企画部)



パネル展の様子

「第 69 回全国植樹祭」の開催日が決定！

「第 69 回全国植樹祭ふくしま 2018」の開催日が、平成 30 年 6 月 10 日（日）に決定しました。

平成 29 年 8 月 9 日（水）、JR 福島駅前において、往来する皆様に、植樹祭バージョンキビタンと一緒にチラシとうちわを配布し、開催日の周知のPRを行い、大会の開催気運を盛り上げました。
(森林林業部)



JR福島駅前でのPR活動



植樹祭バージョンキビタンに興味津々

大会への参加について

〈式典会場への参加〉

- 平成 29 年 9 月中旬から一般公募により参加者を募集する予定です。
- 応募多数の場合は、抽選により決定します。

〈サテライト・PR 会場への参加〉

- 大玉村のふくしま県民の森にサテライト会場を、福島市・会津若松市・郡山市・白河市に PR 会場を設置して、さまざまなイベントを実施します。(自由参加)

■「第 69 回全国植樹祭ふくしま2018」URL:

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/syokujusai/>

ももの加工研修会の参加者募集！

「けんぽく6次化ミーティング」では、「これぞ！けんぽく」という6次化商品の開発を推進しており、本年度は県北地方の果樹を代表するももに焦点をあて事業を展開しています。

このたび、下記のとおり、ももの加工研修会を開催しますので、6次化商品に興味のある農業者や加工技術をお持ちの事業者の皆様の御参加をお待ちしております！（企画部）

■詳細及び申込方法 URL：<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/kikaku-6jika.html>

本年度国見町にオープンした道の駅「国見あつかしの郷」で販売する菓子惣菜を加工している食品加工施設「MOMO' CO」（森江野町民センター内）で、福島県農業総合センター流通加工科 主任研究員 國分計恵子氏を講師に招き、「食感を残した桃の1次加工についての研修会」を開催します。

また、併せて、「国見あつかしの郷」の職員も参加して、「もも加工品についての意見交換会」を開催します。

けんぽく6次化ミーティング ももの加工研修会 1次加工技術を取得して桃を売り込もう！！

ももは、出荷時期が夏に集中する上、酸化防止が難しく加工と農業の両立は非常に困難な果物といえます。
しかし、だからこそ！もも加工商品の可能性は ☆☆未知数☆☆
食感や色の良いコンポート、ドリップや酸化を極力抑える冷凍技術、そして、その一次加工品の活用術を学んでみませんか？
また、加工技術をお持ちの事業者の参加も大歓迎！！桃生産者との意見交換をしてみませんか？

開催日 平成29年9月13日(水)

場所 森江野町民センター
電話:024-585-5799
(国見町大字徳江字
下谷地田15番地)



内容	場所	時間	内容
森江野町民センター 会議室 (定員30名)	10:00~	11:30	講義 1次加工の可能性と課題 1次加工の方法とポイント 1次加工品の活用術
	11:30~		
～昼食(各自)～			
momo'co** (定員15名)	13:00~	15:00	備わったあるコンポート調理実習 (真空加熱、冷凍) コンポートを活用した商品調理の実習

*1次加工とは、桃のコンポート、冷凍、真空、乾燥をいいます。
** momo'co加工施設は、森江野町民センターにあり、道の駅「国見あつかしの郷」の菓子惣菜加工施設

参加費 無料

参加申込 裏面の参加申込用紙を記入し、
平成29年9月7日(木)までに
FAX 又は電子メールにてお申込みください。



**申込先
問合せ先** 福島県県北農林事務所 企画部地域農林企画課 担当 小野知恵
電話 024-521-2596 FAX024-521-2850 電子メール
kikaku.af01@pref.fukushima.lg.jp



もものコンポート



もものコンポートを使用した加工品(イメージ)

けんぼくの6次化の取組の紹介 株式会社川俣町農業振興公社
「味なおもてなし、福島地鶏 川俣シャモ！」



川俣シャモは、「田舎ならではの最高の食材で、心と身体を養っていただきたい」という、おもてなしの心から生まれました。

川俣シャモの特徴は、「脂っぽくなく深みのあるコク」、「柔らかすぎず固すぎない適度な弾力の肉質」です。噛めば噛むほど、肉の中に閉じ込められた鶏本来の旨味がお口の中に広がります。

「川俣シャモ 砂肝のアヒージョ」はおつまみなどとして手軽に食べられる商品として作られました。大粒のシャモの砂肝をにんにくオリーブオイルでじっくりと煮込んでおり、そのままでも美味しいですが、軽く温めると香りも良くさらに美味しく召し上がれます。

その他にも、川俣シャモを使ったくんせいや、カレー、炊き込みご飯の素、鍋などの「レトルト商品」、イベントでも好評の「シャモメンチ」などを製造・販売しております。

【取り扱いWEB 販売】 <http://kawamata-shamo.com/>

【事業者データ】株式会社川俣町農業振興公社

住所：〒960-1402 福島県伊達郡川俣町小綱木字泡吹地 8

電話：024-566-5860

ホームページ：<http://kawamata-shamo.com/>



川俣シャモ



砂肝のアヒージョ



編集・発行 福島県東北農林事務所 企画部 地域農林企画課

電話 024-521-2596 FAX 024-521-2850

ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/>

電子メール kikaku.af01@pref.fukushima.lg.jp

